長野リネンサプライ株式会社

2026年9月25日





所　在　地 ：長野県長野市アークス１３番７号
会 社 概 要 ：リネンサプライ業務
「布製品のリース・クリーニングを行う業務」
障害者の雇用数：60.0名
［知的：56.0名　精神：4.0名］
※雇用率算定に当たっては重度障害者を2人分としてまた、短時間労働者は0.5人とカウントする

実効率：39.1%

ホームページ:https://www.naganolinen.co.jp/

認定日：2026年（令和8年）9月25日

障害者雇用に係る主な取り組み

○昭和38年2月　設立
○企業在籍型ジョブコーチを配置し日常的な相談支援を実施しています。関係機関との連携や社内研修を通じて支援体制を強化するとともに、職場環境や通勤への配慮により安心して働き続けられる環境を整えています。

障害者雇用への取組の成果（認定に当たっての評価ポイント）

数的側面

雇用状況	実雇用率	３９．１%
	障害者不足数	０．００人
定着状況	過去３年間に採用した障害者の就職６か月後定着率	１００%
	過去３年間に採用した障害者の就職１年後定着率	１００%

長野リネンサプライ株式会社

2026年9月25日

障害者雇用への取組の成果（認定に当たっての評価ポイント）

質的側面	
キャリア形成	二人の障害者が主任として（賃金規定で役付き手当の支給と定められている）勤務しており、役付となっている。 過去3年間に雇入れた短時間勤務の障害者がフルタイム勤務に転換している。

障害者雇用への取組（認定に当たっての評価ポイント）

体制づくり	
組織面	当社のホームページやパンフレットには、代表取締役社長からのメッセージが記載されている。 「みんなが働きやすい環境づくり」を目指し、「障がい者に適した機械の設置と整備に取り組む」という内容の記載もあり「作業上の安全管理と能率の向上を図る」などの記載がある。 企業在籍型職場適応援助者を配置し、日常的に業務指導のみならず、職業生活全般における相談などにも対応した障害者支援を行っている。
人材面	職員には、専門的な外部研修（企業在籍型職場適応援助者研修）を受講させ専門的な知識や技能を習得させている。この職員は障害者支援や同僚などへの助言を実施している。 企業在籍型職場適応援助者を講師とした内部研修を開催し、組織全体で障害者雇用への理解や指導相談等のノウハウの向上を計っている。 障害者雇用への理解を目的に、従業員を対象に先進的な企業の見学及び研修に参加した。

仕事づくり	
事業創出	過去2年間のうち、令和7年度の決算書類では計上利益が黒字になっている。

長野リネンサプライ株式会社

2026年9月25日

環境づくり

職務環境	障害者に限定せず、誰もが利用しやすいように正面入り口にスロープを設置している。また、掲示物等を障害者の目線に合わせて設置している。 障害特性に配慮して、マニュアル等に写真を張り付けることで分かりやすくしている。
募集・採用	過去3年間で、特別支援学校や就労移行支援事業所などからの職場実習を受け入れている。その際には、職務指導や相談支援の担当者を配置して相談等にも対応している。 過去3年間で、障害者雇用の先進的な企業の見学を実施しており、意見交換を行っている。 過去3年間で、障害者雇用に関する研修を実施している。当事業所では、職場適応援助者養成研修の実習を受け入れ、障害者雇用の取り組みや障害者雇用の際に留意すべき点について指導を行った。
その他の 雇用管理	精神障害者の精神的負担を軽減するために、まずは、身体的負担を取り除く目的で近くの駐車場を手配した。工場と駐車場が離れているため、障害特性に配慮して利用しやすいように、より近い場所に駐車場の手配した。 障害者の職場定着に向けて課題などの早期解決等のために、障害者就業生活支援センターや特別支援学校と連携を図り、意見交換等の支援会議を開催している。